

**全国歯科技工所アンケート 2024 を実施 保険で歯科治療が困難に！
解決には、歯科医療費の総枠を増やすことが必要不可欠**

全国 36 都道府県の保険医協会を通じて、歯科技工所にアンケートを送付しました。2002 件の回答が寄せられ、歯科技工士の置かれた長時間労働、低賃金の労働実態が変わっていないことが明らかになりました。解決には、歯科医療費を増やすこと、歯科技工に適切な技術料が手渡る実効性のある取引ルールを確立することが必要です。

以下リリースの全文は、全国保険医団体連合会のホームページに公開しています。
<https://hodanren.doc-net.or.jp/info/news/2025-04-14/>

【基礎項目】

- 回答者の 76.2%が個人立、60%が歯科技工士 1 人の歯科技工所で、小規模な事業所の声が集まった。
- 開設者の年齢区分では、30 代未満が 4.4%、50 代が 26.0%、60 代が 38.7%、50 代以上で 8 割と、高齢化が進んでいることが浮き彫りになった。
- 1 週間の労働時間は、70 時間超が 39.3%、そのなかで 91 時間以上は 15.2%にも
のぼる。前回調査よりは若干減ったものの、長時間労働は変わっていない。過労死
ラインである週 60 時間以上（所定労働時間週 40 時間＋残業時間 20 時間＝月 80
時間の時間外労働相当）は 49.9%であった。一日の労働時間が 12 時間超という
回答も 31%あった。
- 1 週間の休日は「1 日」が 45.5%あったものの、「ほとんど取れない」が 32.2%と
なっている。
- 一年間の可処分所得 300 万円以下が 39%。500 万円以下を合わせると 64.8%で
あった。異常な長時間労働にもかかわらず、年収は低く抑えられている。

【歯科技工所の状況】

- 個人立と法人立では、自費の補綴技工物の取り扱いの割合が逆転している。このまま個人立の歯科技工所の減少傾向が続くと、保険診療における補綴物の製作ができなくなる恐れがある。保険の入れ歯、差し歯が作れない、入らないということは、何より患者にとって深刻な事態となる。
- 後継者がいない歯科技工所が 84%。自身の 5 年後の状況については、技工士を続けていると思う 41.0%、技工士を辞めていると思う 27.5%、わからない 24.9%。
- 現在の技工業務について、最も負担に感じるものは、歯科医院からの再製作依頼が 29.8%、歯科医院との料金交渉が 29.4%、休日返上による技工物製作業務 21.2%と続く。その他が 11.3%のうち、自由記述欄に全部や複数あり選べないなどの回答も散見された。

【歯科技工士不足解消のために -厚労省の政策について-】

- 歯科技工士不足解消のために現在厚労省で審議されている「CAD/CAM システムによる製作や技工士にリモートワークを認めるなどの業務効率化の推進」、「技工士による『診療の補助』や『訪問診療への帯同』が法的に整備されるよう法改正」については、どちらも 6 割以上が「効果がないと思う」と回答している。
- 歯科技工所の経営改善のために必要だと思うものについては、直接請求制度の創設が最多となった。続いて補綴関連の診療報酬の増額、「7：3」再徹底のルール作り、最低価格保証の創設など、必要な歯科技工報酬が確実に技工所に渡るルール作りと、診療報酬の増額に関わる回答が多かった。
- 歯科技工士不足解消のために改善が必要だと思うこととしては、「技工料金の全体的な値上げ」が 87%で圧倒的に要望されている。「7：3」告示再徹底のルール作り、労働時間規制と続く。

【結果を受けて：私たちの要望】

歯科の低医療費政策を改め、国の予算で適切な歯科医療費、診療報酬を手当することが必要だ。

そのうえで、補綴点数をはじめとした保険点数を引き上げなければならない。点

数を引き上げても歯科技工士に手渡らなければ意味がなく、現在は自由取引に任されている取引ルールを、適切な技術料が手渡るような実効性のある取引ルールを確立することが必要だ。

また、点数が引き上げられたことで必要な受診をためらわないよう、患者の窓口負担額を軽減することが必要である。

【調査の目的】

超高齢社会の進行に伴い歯科治療の需要は増加することが予想される一方、公的歯科医療をささえる歯科技工士の高齢化と離職がすすんでいます。団塊の世代の歯科技工士の大量離職が予想され、高齢者のみならず、患者・国民が保険の補綴治療が困難になることが危惧され、改善が重要な課題となっています。

医師・歯科医師の団体として、歯科技工所（士）の実態、意識を理解するとともに、問題解決のための方策、手立ての検討のための基礎資料とすることを目的に、2016年に続き「2024年歯科技工所アンケート」を実施したものです。

お問い合わせ先

全国保険医団体連合会

〔担当者〕 歯科政策部 治田（じた）、鈴木（ぼく）

〔TEL〕 03-3375-5120 〔FAX〕 03-3375-1862

〔E-mail〕 jita_naoya@doc-net.or.jp

〔公式サイト〕 <https://hodanren.doc-net.or.jp/>

【参考資料】 歯科医療の現状

歯科医療に占める、入れ歯、差し歯治療（歯冠修復及び欠損補綴）は、歯科治療の3割以上を占めます。これは虫歯治療等（処置）に次ぐ、2番目の多さです（表、令和5年社会医療

診療行為別統計の
概況、政策統括官
付参事官付社会統
計室、2024年6月
26日）。

【表】

歯科の診療行為別1件あたりの点数に占める、歯冠修復及び欠損補綴の割合

一般医療	後期医療	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
30.0%	35.0%	16.0%	25.0%	32.0%	36.0%	35.0%

歯科の診療行為別1日あたりの点数に占める、歯冠修復及び欠損補綴の割合

一般医療	後期医療	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
30.0%	35.0%	16.0%	25.0%	32.0%	36.0%	35.0%

件数、額が多いにも関わらず、この分野の診療報酬は低く抑えられています。ここを低く

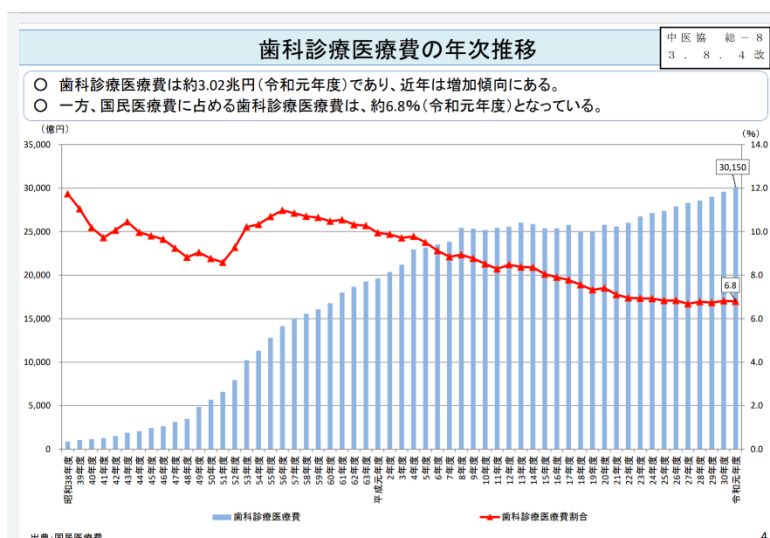
抑えることが、歯科医療費を少なくするための肝だからです。

医療費が少なく済むならばよいではないかと思うかもしれませんが、かかる手間と比べて収入が少なければ、歯科医院経営が成り立たず、地域から歯科医院がなくなることになります。また、歯科医院の取引先である歯科技工所などもなくなってしまいます。

これは、歯科医療界だけの問題ではなく、患者、国民が健康保険料を払っていても、歯科医療を受けられなくなる、虫歯治療ができない、入れ歯・差し歯が入らなくなるという、国民の健康維持に関わる問題です。

【図】

現在、国民総医療費は約 47 兆円ですが、歯科の占める割合は約 7%となっています（図、中医協資料）。1980年代に約 11%ありましたが、先進医療や高額薬剤が発売される中で、歯科医療は新たな技術や薬剤が導入され、国民の健康維持に歯科医療が果たすべき役割は増大しているにもかかわらず、医療費は低く抑えられています。



歯科医療界の窮状の解決方法は明確です。低い歯科医療費が問題の根源です。

歯科医療費を国民医療費の 10%程度に引き上げれば、患者負担を引き下げながら、診療報酬の大幅引き上げによる歯科医療従事者の処遇・働き方の改善、保険給付範囲の拡大などが可能となり、国民はより一層の健康を確保することができます。

- ・診療基本料、基礎的技術料の引き上げ
- ・低歯科技工料の改善
- ・保険適用範囲の拡大と、自費診療の保険給付への転換
- ・いわゆる「混合診療」に類する制度は廃止し、保険診療を充実。歯科矯正の保険給付。

なお、保団連は社会保障充実のための財源の確保についても提案しています (<https://hodanren.doc-net.or.jp/info/news/2023-11-02/>)。『月刊保団連』（2021 年 9 月号）などを参照してください。

2024年歯科技工所アンケート 調査結果と概要報告

PRESS RELEASE

1

2025年2月20日

関係者各位

超高齢社会の進行に伴い補綴治療の需要は増加することが予想される一方、公的歯科医療をささえる歯科技工士の高齢化と離職がすすんでいます。2025年は団塊の世代が75歳を迎え、歯科技工士の大量離職が予想されます。そうすると、高齢者のみならず、患者・国民にとって欠かせない保険の補綴治療が困難になることが危惧され、改善が重要な課題となっています。

医師・歯科医師の団体として、歯科技工所(士)の実態、意識を理解するとともに、問題解決のためにどのような方策、手立てが必要か検討するための基礎資料とすることを目的に、2016年に続き「2024年歯科技工所アンケート」を実施しました。

【照会先】全国保険医団体連合会 歯科担当事務局
(電話)03-3375-5121 (直通)03-3375-5120
(ファクス)03-3375-1862
(E-mail)jita_naoya@doc-net.or.jp (じた)

2

I. 調査概要

◆調査の方法

全国の都道府県の保険医協会を通じて、各都道府県内の歯科技工所にアンケート用紙を送付し、Googleフォーム、郵送およびFAXで回収。

◆調査期間 2024年9月～10月。

◆回答数

36都道府県の歯科技工所から、2002件の回答があった。

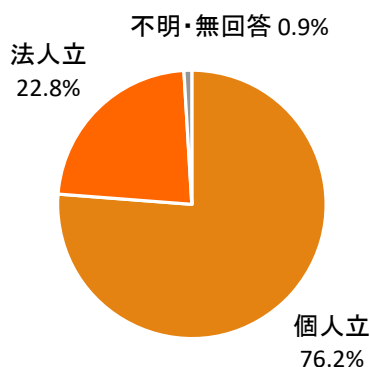
3

回答した技工所の基礎項目

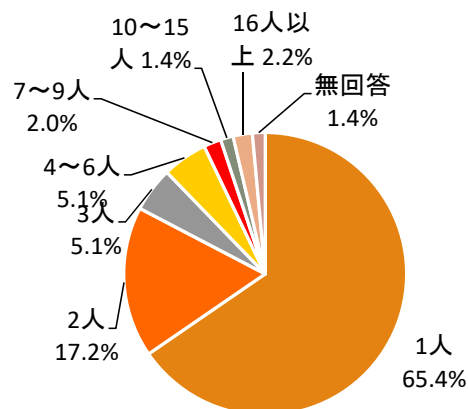
回答者の76%が個人立、65%が歯科技工士一人のみの歯科技工所でした。比較的小規模な事業所の声が集まったと言えます。

なお、政府統計(2022年)では、従業員1人の歯科技工所が76%、2人が13%であり、零細規模の技工所が大半を占めています。

開業形態



就業歯科技工士数

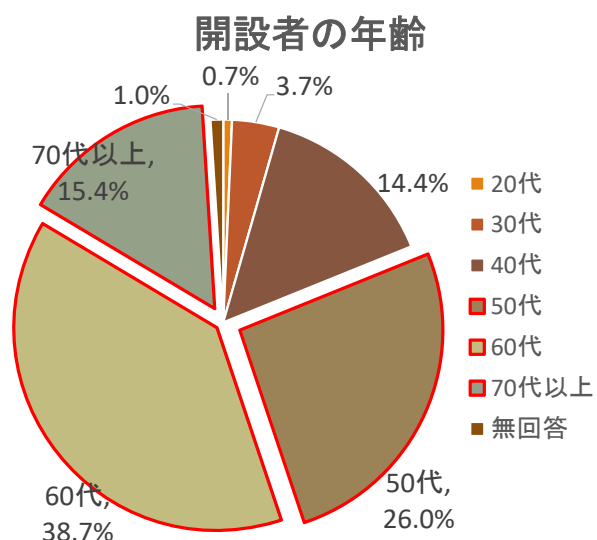


4

30代未満4.4%、50代以上が8割超～深刻な高齢化～ 国家資格を持ち、優れた歯科技工物を製作する技能が引き継がれない

開設者の年齢区分は、30代未満が4.4%、50代が26.0%、60代が38.7%、50代以上で8割と、高齢化がすすんでいることが浮き彫りになりました。

(2016年調査では、30代未満が5.1%、50代が40.3%、60代32.6%、50代以上が7割超)



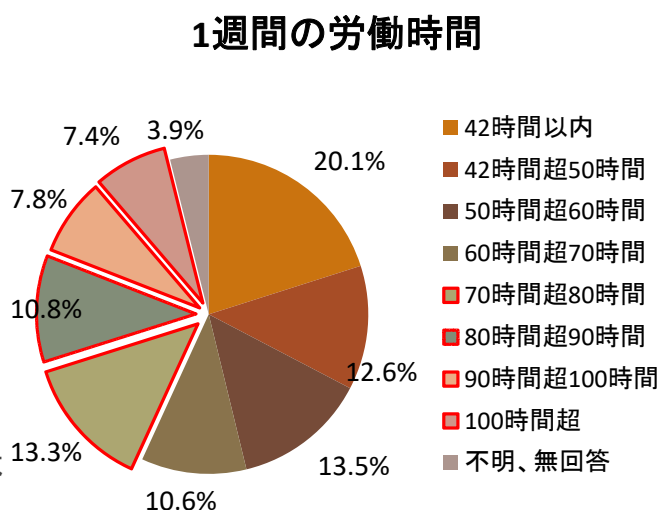
5

異常な長時間労働 週70時間を超える労働時間が4割

1週間の労働時間は、70時間超が39.3%、そのなかで90時間以上は15.2%。前回調査よりは減ったものの、長時間労働は変わっていません。

1週間の休日も「1日」が半数近く(45.4%)あったものの、「ほとんど取れない」が3割超となっています(32.2%)。

(2016年調査では、1週間の労働時間は、71時間以上が47.5%、90時間以上は2割近く。1週間の休日も「1日」が半数近くあったものの、「ほとんど取れない」が3割を超えており、状況はほとんど変わっていない。)



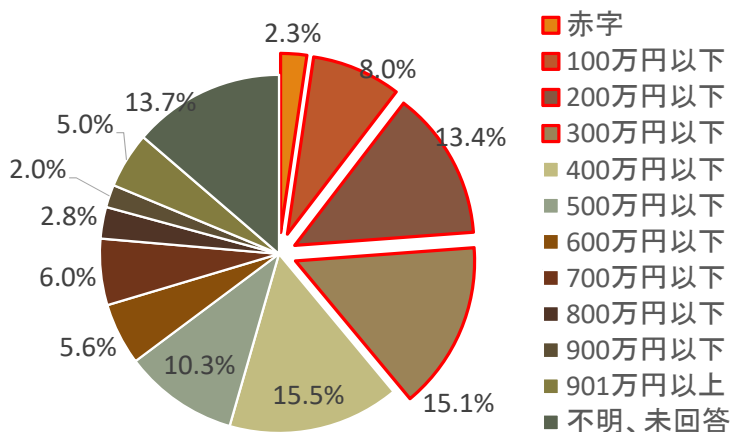
6

長時間労働の割に低賃金 年収300万円以下が約4割

開設者の一年間の可処分所得は、300万円以下が39%。500万円以下では65%も占める。異常な長時間労働に関わらず、年収は抑えられています。

(16年調査では、年収300万円以下が44%。労働時間同様状況はほとんど変わっておらず、離職の大きな原因の一つである経済問題の解決には程遠い現状である。)

昨年度の可処分所得



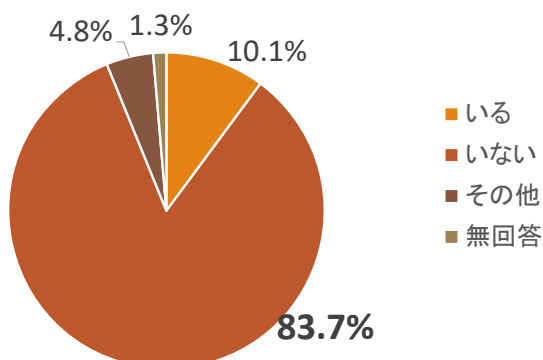
7

深刻な後継者不足

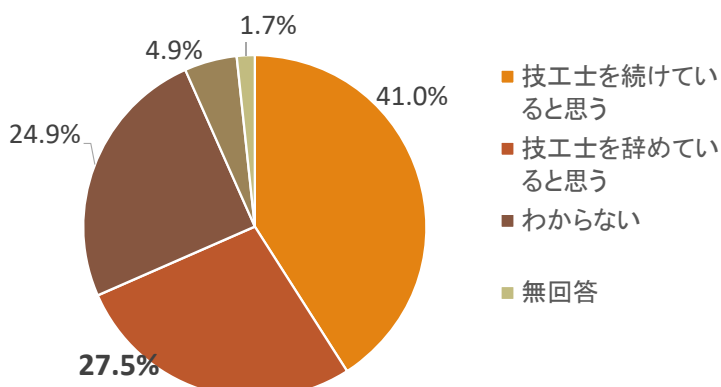
長時間労働や低賃金などの労働条件を背景に、後継者がいない歯科技工所が84%。

5年後の自身の状況は、歯科技工士をやめていると思うが27.5%、一方、続けたいは4割を占めました。

技工所に後継者はいますか



ご自身の5年後の状況について予想されるもの



8

保険診療の取り扱いに差

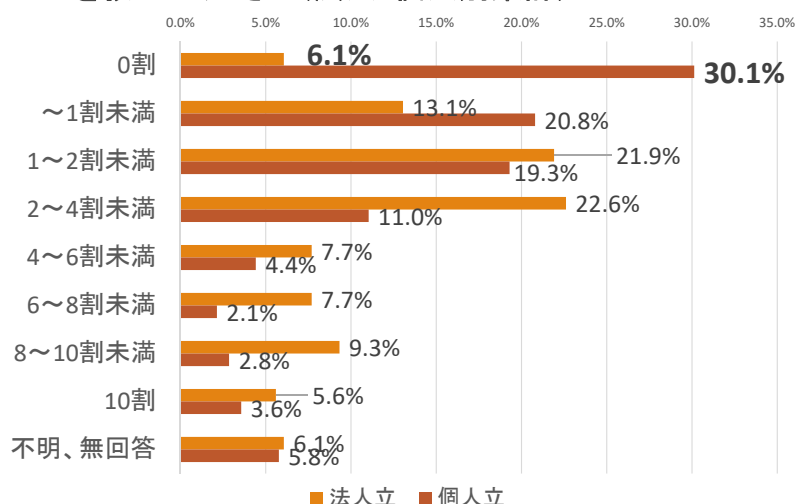
保険診療のみを取り扱う歯科技工所は、個人立では30%を占める一方、法人立では6%にとどまりました。

保険診療の歯科技工物の取り扱いの割合は、個人立歯科技工所の方が高い傾向にあります。

このまま個人立歯科技工所の減少傾向が続けば、保険診療での補綴物供給が困難にもなりかねません。

患者の口腔の健康が守られない事態が迫っています。

昨年度のおおよその総売上に占める、自費の割合を教えてください(法人・個人別集計)



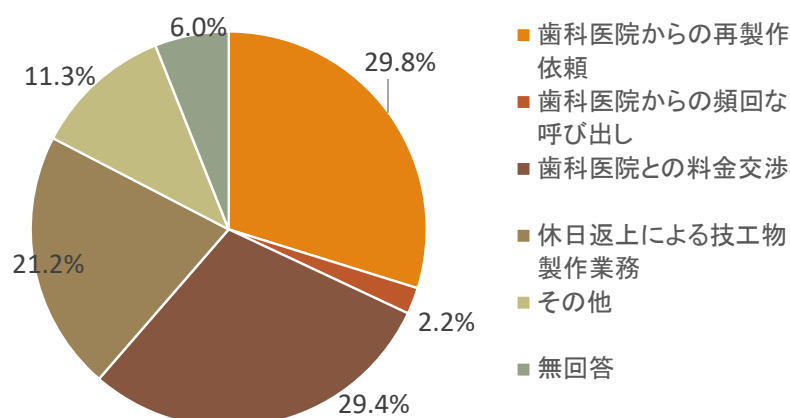
9

負担に感じる業務内容は様々

歯科技工業務について、「歯科医院からの再製作依頼」、「料金交渉」が3割程度、「休日がないこと」のが約2割と続いている。

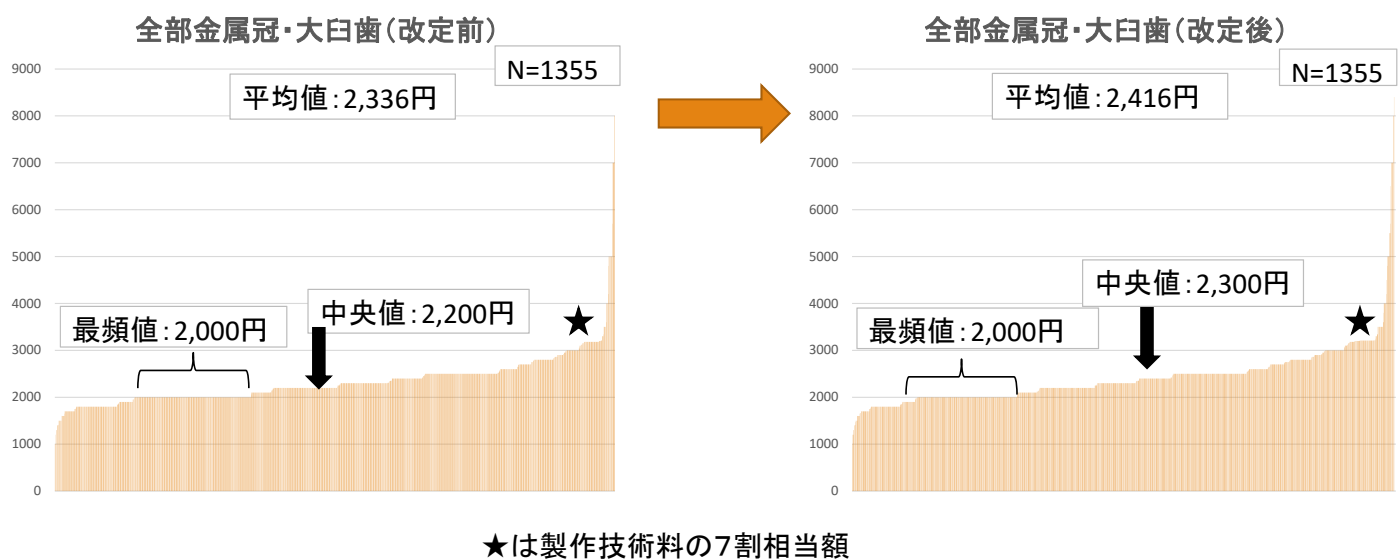
なお、「その他」(11.3%)のうち、選べない、複数、全部などの記述が散見された。

現在の技工業務について、最も負担に感じるもの (SA)



10

取引例①全部金属冠・大臼歯



11

取引例①全部金属冠・大臼歯

	(件)	
改定後金額引き上げ	339	
改定後金額引き下げ	5	
改定前のみ記入	691	} 変更なし
変化なし	320	
空欄、無回答	617	} 取扱なし
取扱なし	30	
合計	2002	

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

全部金属冠、FMCなどと回答があったのは202件

	現行金額	希望金額	16年調査の 現行額	16年調査の 希望額
平均値	2,280.0	3,662.5	2,261.1	3,397.7
中央値	2,200	3,000	2,200	3,000
最頻値	2,000	3,000	2,000	3,000

改定前454点の7割は3178円

改定後459点の7割は3213円

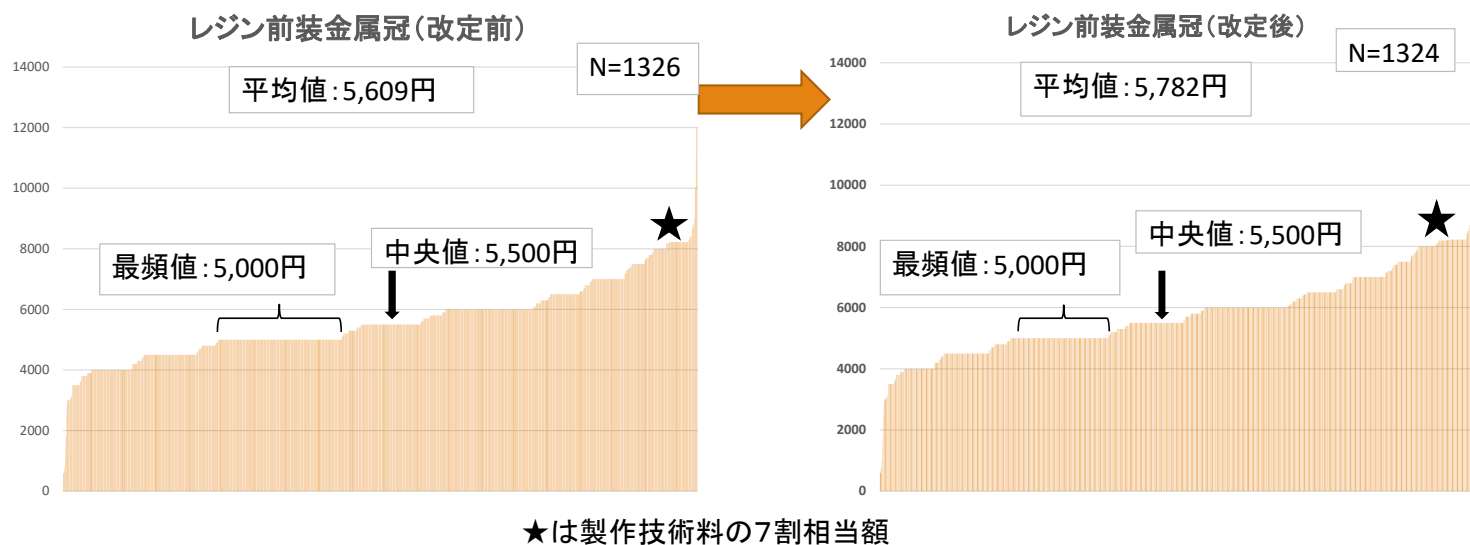
2016年の全部鑄造冠(大臼歯、金パラ)の点数は454点で、22年改定まで据え置かれた。

改定前、3178円以上だったのは、1355件のうち75件

改定後、3213円以上だったのは、1355件のうち54件

12

取引例②レジン前装金属冠



13

取引例②レジン前装金属冠

	(件)	
改定後金額引き上げ	293	
改定後金額引き下げ	25	
改定前のみ記入	696	変更なし
変化なし	310	
改定後、取扱なし	2	
空欄、無回答	637	取扱なし
取扱なし	39	
合計	2002	

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

レジン前装金属冠などと回答があったのは370件

	現行金額	希望金額	16年調査の 現行額	16年調査 の希望額
平均値	5,322.6	8,010.5	5,466	7,754
中央値	5,000	8,000	5,000	8,000
最頻値	5,000	8,000	5,000	8,000

改定前1174点の7割は8218円

改定後1170点(前歯)の7割は8190円

改定後1100点(小臼歯)の7割は7700円

2016年のレジン前装冠は1174点

改定前、8218円以上だったのは、1326件のうち59件

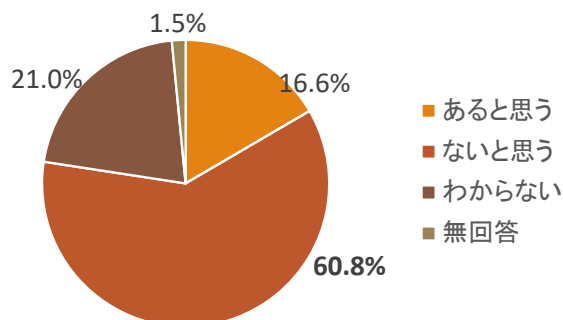
改定後、8190円以上だったのは、1324件のうち87件

14

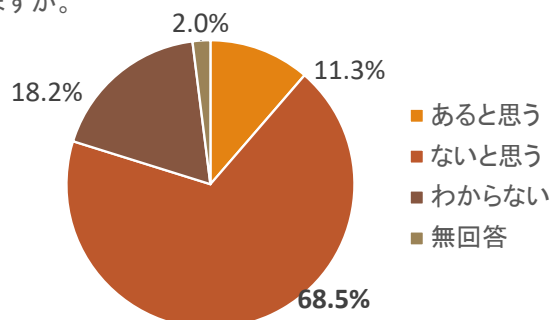
現在議論されている歯科技工士不足 対策への意見

厚労省が提案する歯科技工士不足対策について、6割超が効果がないと回答。

① 厚労省は現在、技工士不足を解消するために、CAD/CAMシステムによる製作や技工士にリモートワークを認めるなどの業務効率化の推進を図っています。こうした政策は、技工士不足の解消に効果があると思いますか。



② 現在、厚労省所管の審議の場では、技工士による『診療の補助』や『訪問診療への帯同』が法的に整備されるよう、法改正の議論がされています。こうした法改正は、技工士不足の解消に効果があると思いますか。



15

アンケートの自由意見欄から①

技工料金の値上げに尽きる。(技工士の給料が安い上にきつい仕事。時間がない)値上げをしないと技工士を雇用できないし、給料も安くせざるを得ない。(60代・法人)

何十年も前から技工士会などでも話していますが、7:3といった所で、技工士が料金を請求など出来ない。国家資格の職業とは思えない。月何十時間はたっても月20万円の給料です。(50代・個人)

現在厚労省が進めている政策では特に地方における人口減少には追いつかず技工士不足どころか技工所の必要性すら疑問視されそうに個人的には思います。(60代・法人)

技工士の待遇が良くない為、他業種に転職している状態。低料金の大型ラボの進出で、歯科医師がそれにとびついている。技工物の最低価格保証制度を創設しなければ、技工業が続かない。おおよそ7:3を無視している。「おおよそ」という言葉があいまいである。(70代以上・個人)

CAD/CAM、3Dプリンター等導入し労働時間短縮になると思うが、ワンマンラボで設備導入するには高額なため支払いが大変 技工士数減少対策は遅い。もっと早くやるべきだった。(70代以上・個人)

16

アンケートの自由意見欄から②

7:3告示の再徹底のルール作り。官庁の委託入札厚労省告示も守れない、7:3告示の時ラボの皆さんは喜んで7:3の料金を先生方をお願いした。ところが安いラボはいくらでもあると断られ、仕事がなくなり廃業したラボが多い。その時から技工士不足は始まっている。(70代以上・個人)

現技工士が自分の家族、周りの者に歯科技工士にはなってはいけないと多くの人が言っているような状況、業界の現状で技工士が増えるわけがない。魅力のない仕事に就く人はいない。(40代・個人)

歯科技工は人のためにもなり、やりがいのある仕事である。労働時間と収入が適切であれば歯科技工士が不足することにはならなかったと思う。週50時間以内の労働で適切な収入が得られるように、科学的に検証して歯科技工料金を設定し、守れるルールが必要だ。歯科技工士の不足は、歯科技工士より歯科診療所の運営や患者さんの健康に与える影響が大きいと思う。ぜひ、歯科界全体で歯科行政や政治に訴えて、この問題の解決に取り組んでいただきたい。(60代・個人)

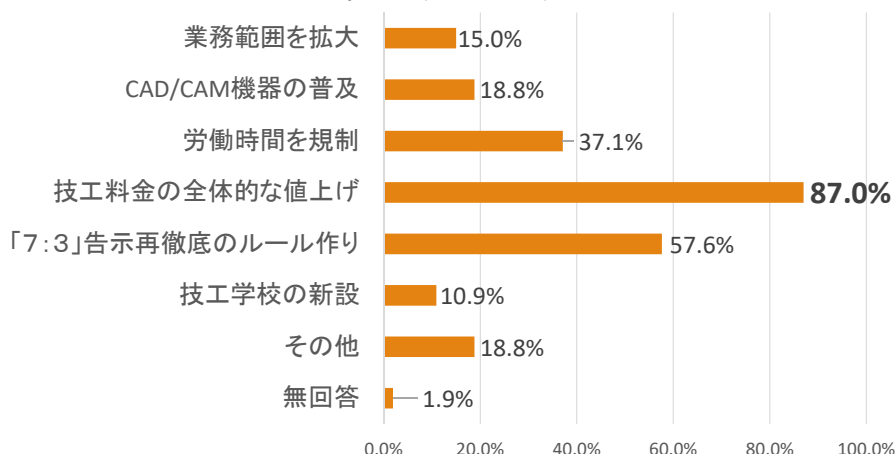
17

歯科技工士を増やすには、経済問題の解決が最優先①

歯科技工士不足の解消のために改善が必要だと思うことは、「技工料金の全体の値上げ」が約9割。

歯科技工料金の全体の値上げのためには、歯科の診療報酬の総枠を拡大したうえで、補綴点数の大幅引き上げが不可欠。

歯科技工士不足の解消のために、改善が必要だと思うこと(3つまで)



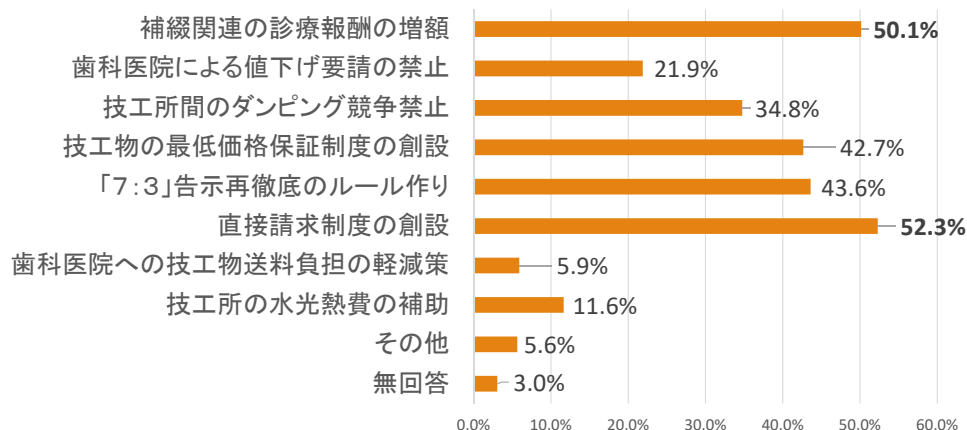
18

歯科技工士を増やすには、経済問題の解決が最優先②

歯科技工所経営のために必要なことについては、「直接請求制度の創設」が最多となった。

以下、補綴関連の診療報酬の増額、技工物の最低価格保証、「7:3」告示の再徹底など、歯科技工士に確実に技工報酬が渡るルール作りが必要であるとの回答が多かった。

歯科技工所の経営改善のために必要だと思うものを、3つまで選んでください。



19

私たちの要求

- ①歯科の低医療費政策を改め、国の予算で適切な歯科医療費を確保すること。
そのうえで、・補綴点数をはじめとした保険点数を引き上げること
・保険診療の適用範囲を拡大すること。
- ②労働時間と原価計算に基づいた歯科技工・保険点数の決定プロセスを透明化すること。
- ③歯科技工に適切な技術料が手渡るような、実効性のある取引ルールを明確化すること。
- ④そのために歯科医療費を少なくとも毎年1300億円増額すること。
- ⑤患者窓口負担を大幅に軽減すること。

20

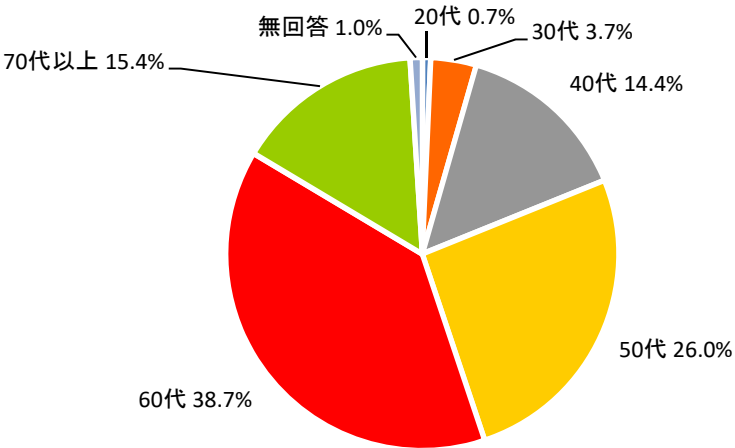
2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

1. ① 開設者の年齢を教えてください。(2024年6月1日現在の年齢) (SA)

		2024年		2016年
No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	20代	14	0.7%	0.2%
2	30代	75	3.7%	4.9%
3	40代	289	14.4%	17.2%
4	50代	520	26.0%	40.3%
5	60代	775	38.7%	32.6%
6	70代以上	309	15.4%	-
7	無回答	20	1.0%	4.8%
	全体	2,002		100.0%

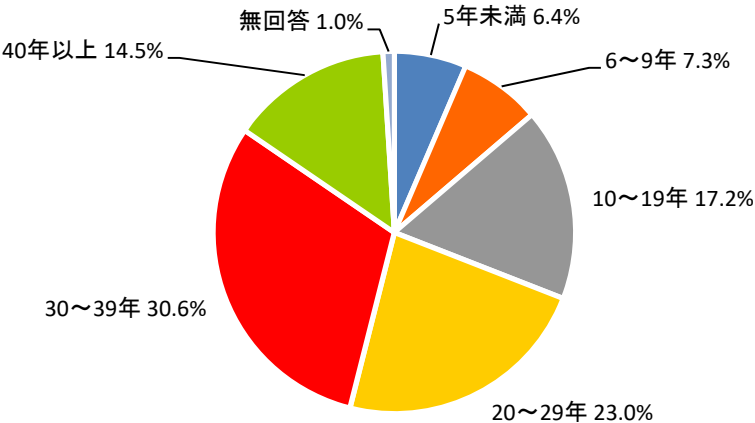
1. ① 開設者の年齢



1. ② 技工所の開業年数を教えてください。(2024年6月1日現在の年数)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	5年未満	129	6.4%
2	6～9年	146	7.3%
3	10～19年	344	17.2%
4	20～29年	461	23.0%
5	30～39年	612	30.6%
6	40年以上	290	14.5%
7	無回答	20	1.0%
	全体	2,002	

1. ②開設者の年齢



2024年歯科技工所アンケート

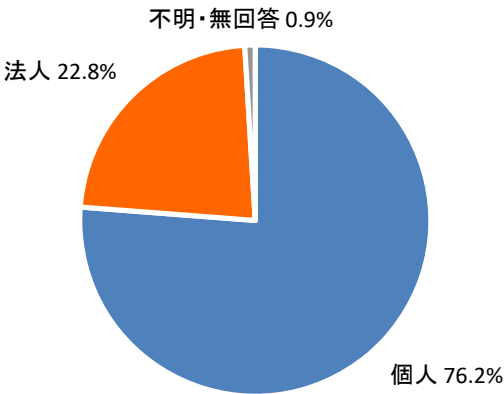
【単純集計】

1. ③ 技工所の開業形態を教えてください。(SA)

2016年

No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	個人	1,526	76.2%	77.7
2	法人	457	22.8%	17.4
	不明・無回答	19	0.9%	4.9
	全体	2,002		100.0

1. ③開業形態

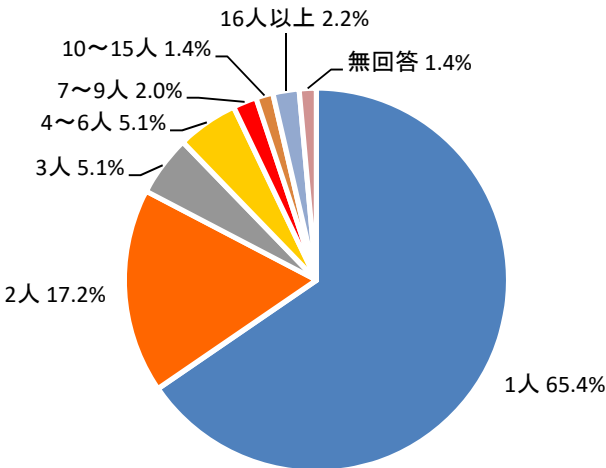


1. ⑤ 技工所の規模を教えてください。(非正規職員も含む人数)ア・技工士の人数(人)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	1人	1,310	65.6%
2	2人	345	17.3%
3	3人	102	5.1%
4	4～6人	103	5.2%
5	7～9人	40	2.0%
6	10～15人	29	1.5%
7	16人以上	44	2.2%
8	無回答	29	1.2%
	全体	2,002	

平均 3.37人

1.⑤歯科技工士数



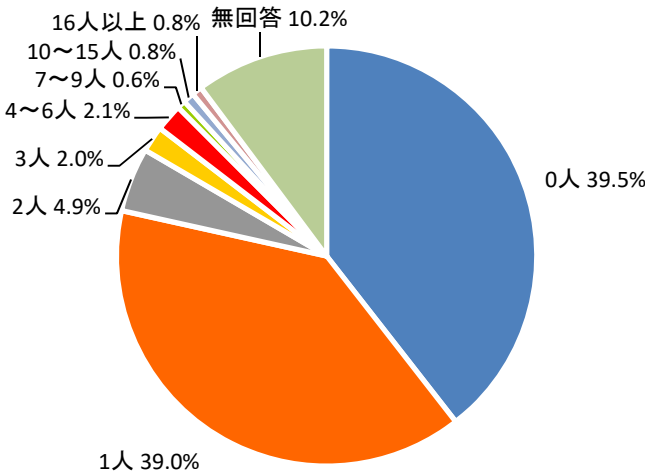
2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

1. ⑤【事業所の規模】事務職員数（人）（SA）

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	0人	790	39.5%
2	1人	781	39.0%
3	2人	99	4.9%
4	3人	40	2.0%
5	4～6人	42	2.1%
6	7～9人	13	0.6%
7	10～15人	17	0.8%
8	16人以上	16	0.8%
9	無回答	204	10.2%
	合計	2002	
	平均	1.41	

1.⑤事務職員数



1. ⑤事業所の規模

No	設問内容	2024年 平均値	2016年 平均値
4. ①	歯科技工士数（人）	3.37	3.11
4. ②	事務職員数（人）	1.41	1.30

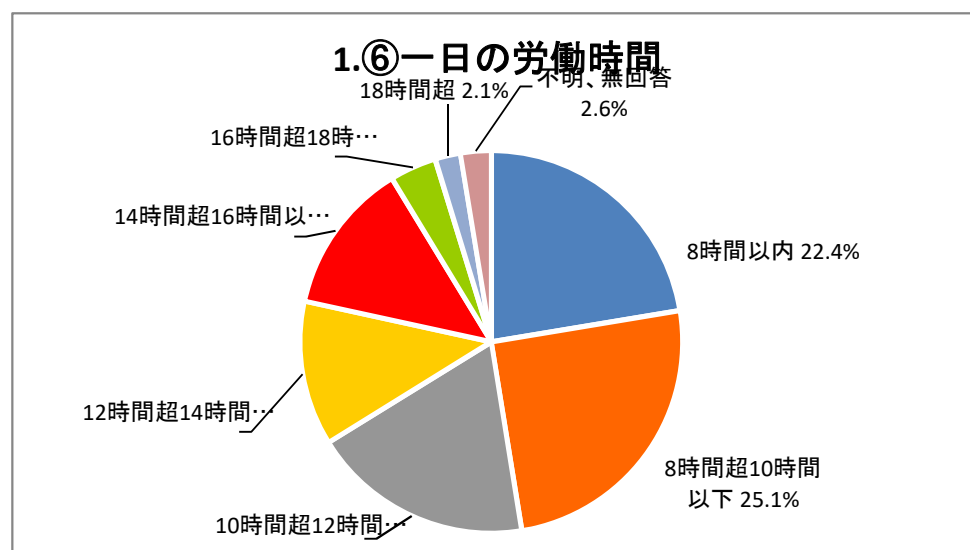
2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

1. ⑥ 技工士1人あたりの1日の労働時間(技工・営業・納品なども含む)を教えてください。(時間)

No	設問内容	件数	全体(%)
1	8時間以内	448	22.4%
2	8時間超10時間以下	502	25.1%
3	10時間超12時間以下	375	18.7%
4	12時間超14時間以下	245	12.2%
5	14時間超16時間以下	258	12.9%
6	16時間超18時間以下	79	3.9%
7	18時間超	43	2.1%
8	不明、無回答	52	2.6%

2002

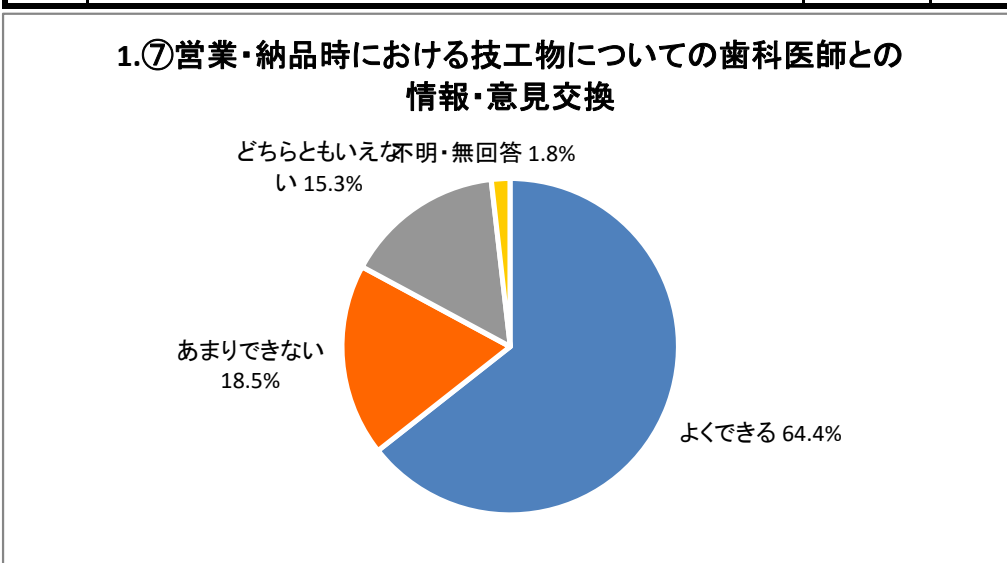


法人立平:10.5時間
個人立平:11.4時間

1. ⑦ 営業・納品時における技工物についての歯科医師との情報・意見交換 (SA)

2016年

No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	よくできる	1,289	64.4%	51.4
2	あまりできない	370	18.5%	18.3
3	どちらともいえない	307	15.3%	25.1
	不明・無回答	36	1.8%	5.2
	全体	2,002		100.0



2024年歯科技工所アンケート

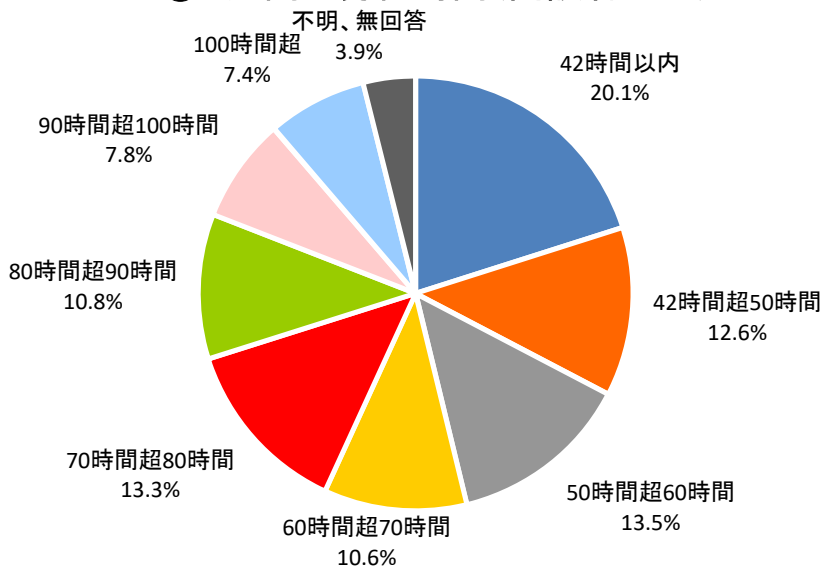
【単純集計】

1. ⑧ 1週間の労働時間（開設者のみ）（SA）

2016年

No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	42時間以内	402	20.1%	9.8
2	42時間超50時間	252	12.6%	9.9
3	50時間超60時間	271	13.5%	13.7
4	60時間超70時間	213	10.6%	13.7
5	70時間超80時間	266	13.3%	15.4
6	80時間超90時間	216	10.8%	12.6
7	90時間超100時間	156	7.8%	9.3
8	100時間超	148	7.4%	10.2
	不明、無回答	78	3.9%	5.4
	合計	2,002		100.0

1. ⑧ 1週間の労働時間（開設者のみ）



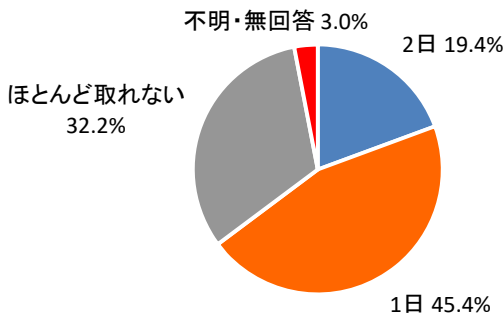
1. ⑨ 1週間のうち休みの日数（開設者のみ）（SA）

2024年

2016年

No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	2日	388	19.4%	11.1
2	1日	909	45.4%	45.6
3	ほとんど取れない	644	32.2%	30.5
4	その他			7.3
	不明・無回答	61	3.0%	5.5
	合計	2,002		100

1. ⑨ 1週間のうち休みの日数（開設者のみ）



2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

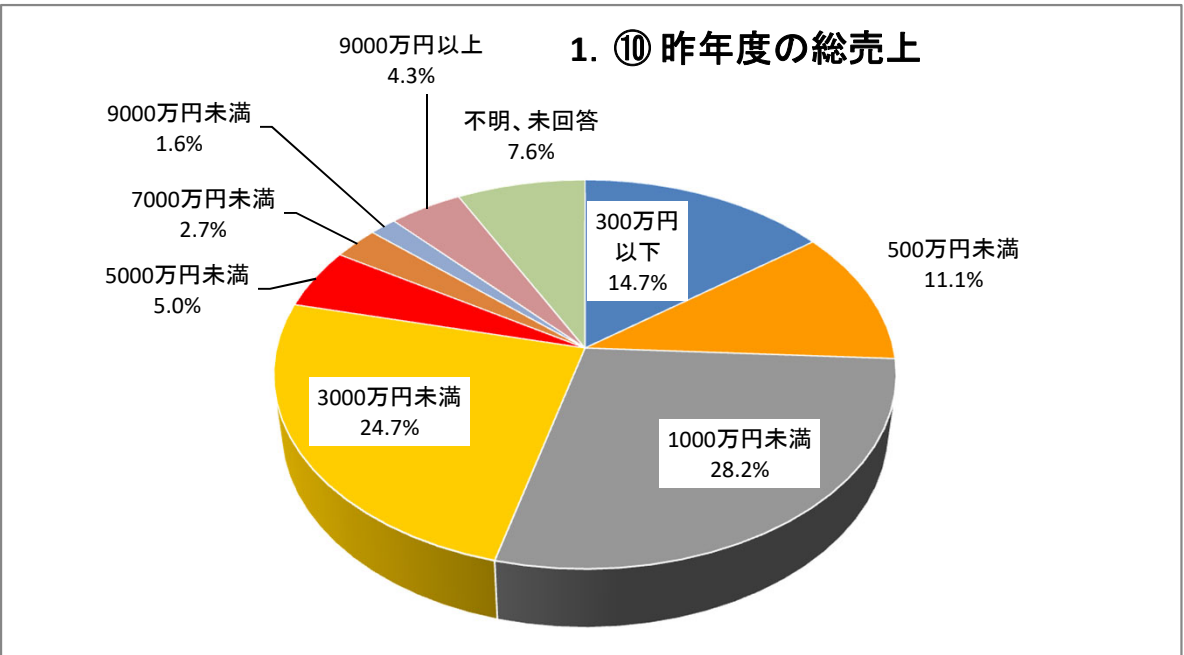
1. ⑩ 昨年度の総売上(おおよその年額)(万円)

No	設問内容	全体	個人	法人
9	昨年度の総売上(おおよその年額)(万円)	3983.85	920.90	14197.69
9	2016年調査	3103.49	872.61	13130.43

1. ⑩ 昨年度の総売上(おおよその年額)(万円)(NA)

2016年

No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	300万円以下	295	14.7%	
2	500万円未満	223	11.1%	28.1
3	1000万円未満	565	28.2%	32.4
4	3000万円未満	494	24.7%	18.7
5	5000万円未満	100	5.0%	4.3
6	7000万円未満	54	2.7%	2.2
7	9000万円未満	32	1.6%	0.8
8	9000万円以上	87	4.3%	2.6
9	不明、未回答	152	7.6%	10.8
	全体	2,002		2,188



2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

1. ⑩ 昨年度の総売上(おおよその年額)(万円)(NA)【歯科技工士数100人以下を対象】

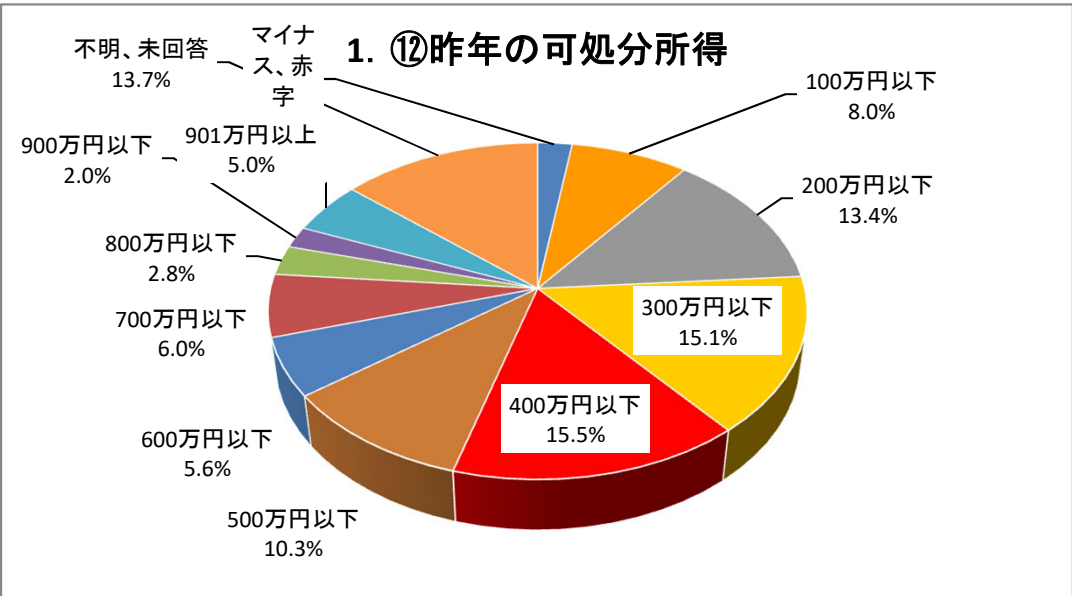
No	設問内容	全体	個人	法人
	昨年度の総売上(おおよその年額)(万円)	2386.4	920.9	7324.9
9	2016年調査	1724.3	872.6	5568.1

1. ⑫ 昨年の可処分所得(総売上ー経費 おおよその年額) 法人の場合は代表者の報酬(万円)(NA)

No	設問内容	全体	個人	法人
	昨年の可処分所得(代表者の報酬)(万円)	398.60	334.60	611.90
	2016年調査	931.40	317.21	3609.66

1. ⑫ 昨年の可処分所得(総売上ー経費 おおよその年額) 法人の場合は代表者の報酬(万円)(NA) 2016年

No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	マイナス、赤字	47	2.3%	
2	100万円以下	161	8.0%	9.5
3	200万円以下	269	13.4%	16.0
4	300万円以下	303	15.1%	18.9
5	400万円以下	310	15.5%	15.0
6	500万円以下	207	10.3%	9.9
7	600万円以下	112	5.6%	5.4
8	700万円以下	120	6.0%	2.7
9	800万円以下	57	2.8%	2.4
10	900万円以下	41	2.0%	0.8
11	901万円以上	101	5.0%	2.5
12	不明、未回答	274	13.7%	17.0
	全体	2,002		100.0



2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

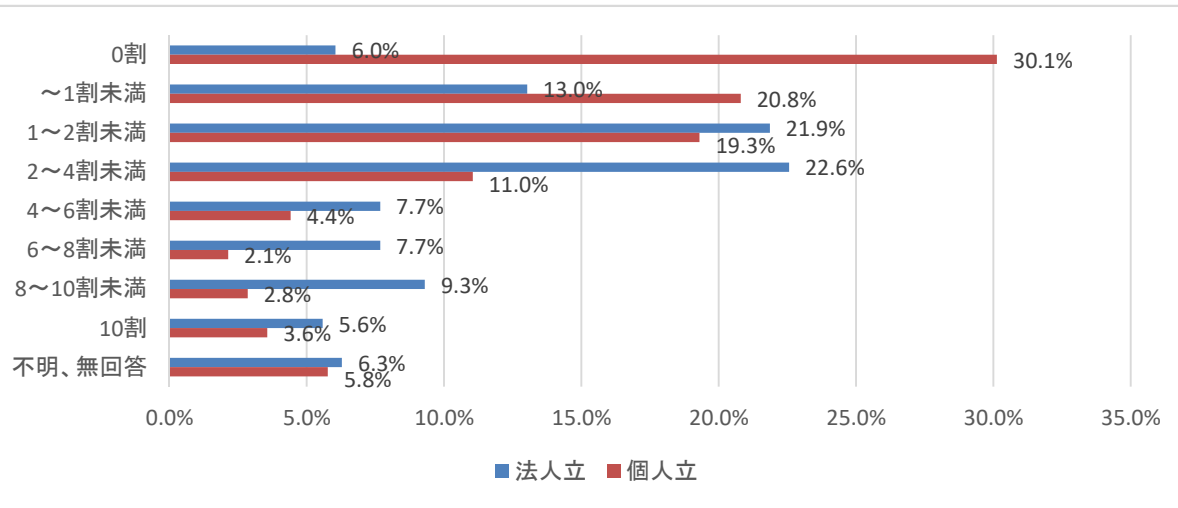
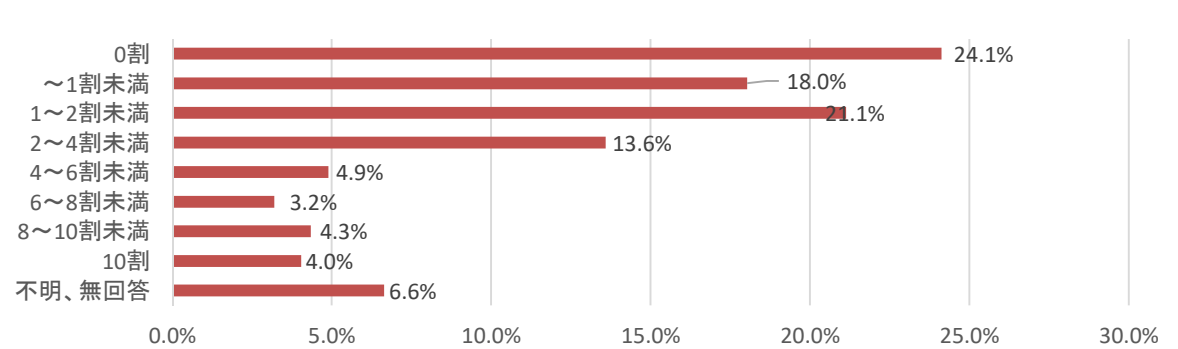
10. 昨年の可処分所得(総売上ー経費 おおよその年額) 法人の場合は代表者の報酬(万円) (NA) 【歯科技工士数100人以下を*

No	設問内容	全体	個人	法人
10	昨年の可処分所得(代表者の報酬)(万円)	394.00	334.60	587.70

1. ⑪自費の割合(割) (NA)

No	カテゴリ	件数	全体(%)	法人立	個人立
1	0割	483	24.1%	6.0%	30.1%
2	～1割未満	361	18.0%	13.0%	20.8%
3	1～2割未満	423	21.1%	21.9%	19.3%
4	2～4割未満	272	13.6%	22.6%	11.0%
5	4～6割未満	98	4.9%	7.7%	4.4%
6	6～8割未満	64	3.2%	7.7%	2.1%
7	8～10割未満	87	4.3%	9.3%	2.8%
8	10割	81	4.0%	5.6%	3.6%
9	不明、無回答	133	6.6%	6.3%	5.8%
	全体	2,002		430件	1404件

1. ⑪昨年度のおおよその総売上に占める、自費の割合を教えてください。(全体)



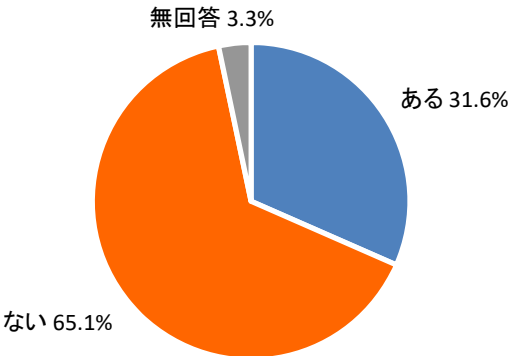
2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

3. ① 過去1年間で、依頼された保険技工物の納期の延長を申し出たことがありますか。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	ある	632	31.6%
2	ない	1,304	65.1%
3	無回答	66	3.3%
	全体	2,002	

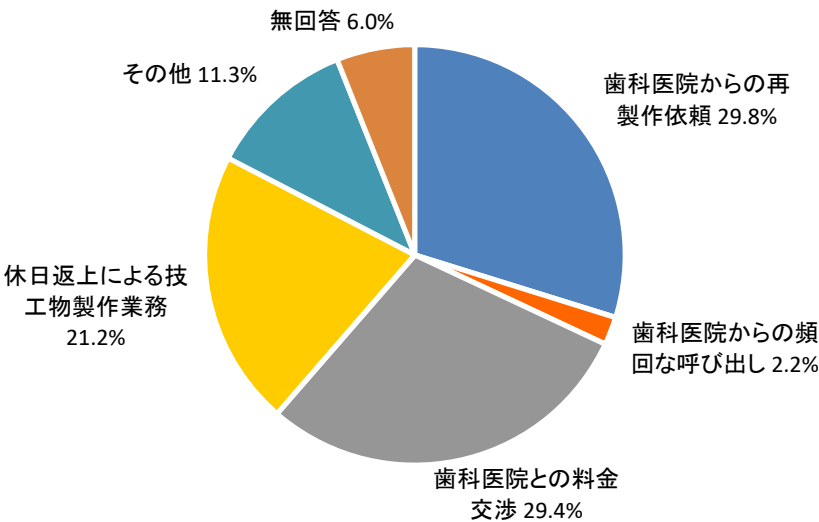
3.①過去1年間で、依頼された保険技工物の納期の延長を申し出たことがありますか



4.①現在の技工業務について、最も負担に感じるものを1つだけ選んでください。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	歯科医院からの再製作依頼	578	29.8%
2	歯科医院からの頻回な呼び出し	42	2.2%
3	歯科医院との料金交渉	570	29.4%
4	休日返上による技工物製作業務	412	21.2%
5	その他	220	11.3%
6	無回答	117	6.0%
	全体	1,939	

4.①現在の技工業務について、最も負担に感じるもの



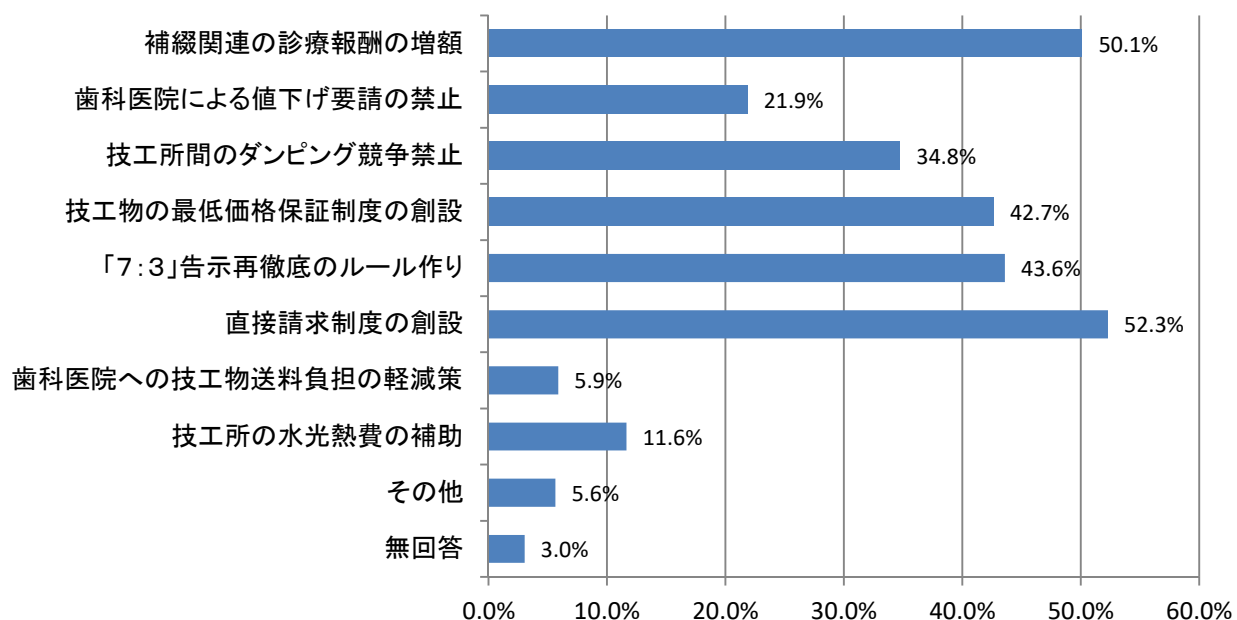
2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

4.② 技工所の経営改善のために必要だと思うものを、3つまで選んでください。(MA)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	補綴関連の診療報酬の増額	1,004	50.1%
2	歯科医院による値下げ要請の禁止	438	21.9%
3	技工所間のダンピング競争禁止	696	34.8%
4	技工物の最低価格保証制度の創設	854	42.7%
5	「7:3」告示再徹底のルール作り	873	43.6%
6	直接請求制度の創設	1,047	52.3%
7	歯科医院への技工物送料負担の軽減策	118	5.9%
8	技工所の水光熱費の補助	233	11.6%
9	その他	113	5.6%
10	無回答	61	3.0%
	全体	2,002	

4.② 技工所の経営改善のために必要だと思うもの

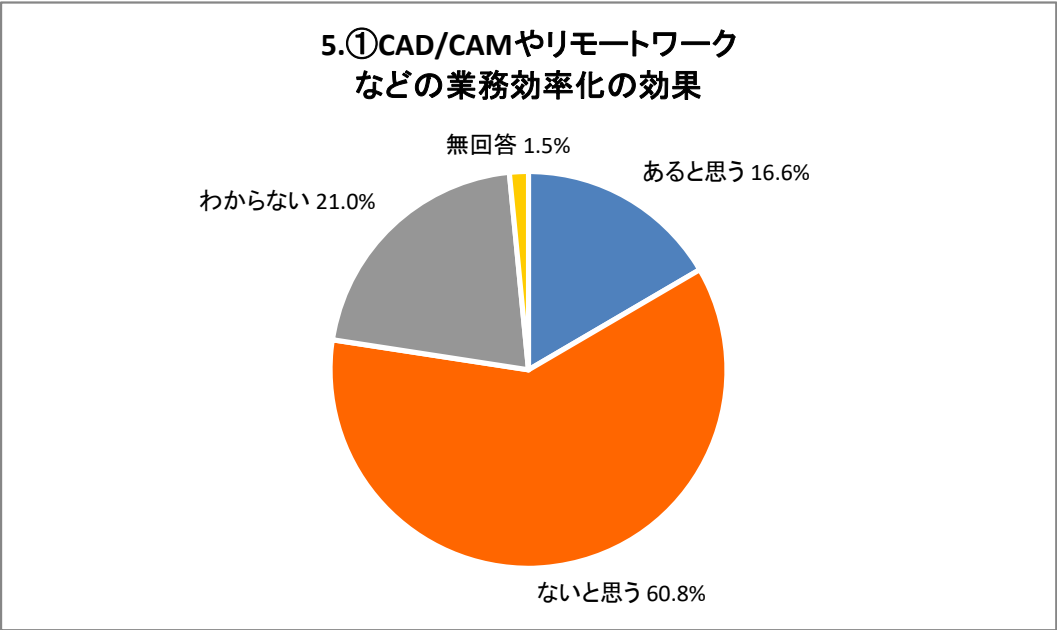


2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

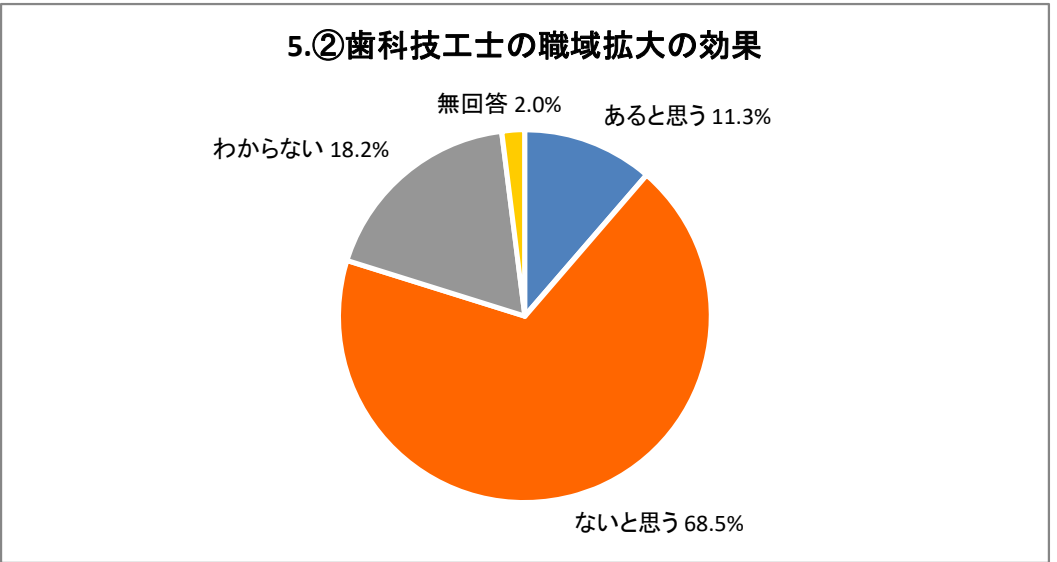
5.① 厚労省は現在、技工士不足を解消するために、CAD/CAMシステムによる製作や技工士にリモートワークを認めるなどの業務効率化の推進を図っています。こうした政策は、技工士不足の解消に効果があると思いますか。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	あると思う	332	16.6%
2	ないと思う	1,218	60.8%
3	わからない	421	21.0%
4	無回答	31	1.5%
	全体	2,002	



5.② 現在、厚労省所管の審議の場では、技工士による『診療の補助』や『訪問診療への帯同』が法的に整備されるよう、法改正の議論がされています。こうした法改正は、技工士不足の解消に効果があると思いますか。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	あると思う	227	11.3%
2	ないと思う	1,371	68.5%
3	わからない	364	18.2%
4	無回答	40	2.0%
	全体	2,002	

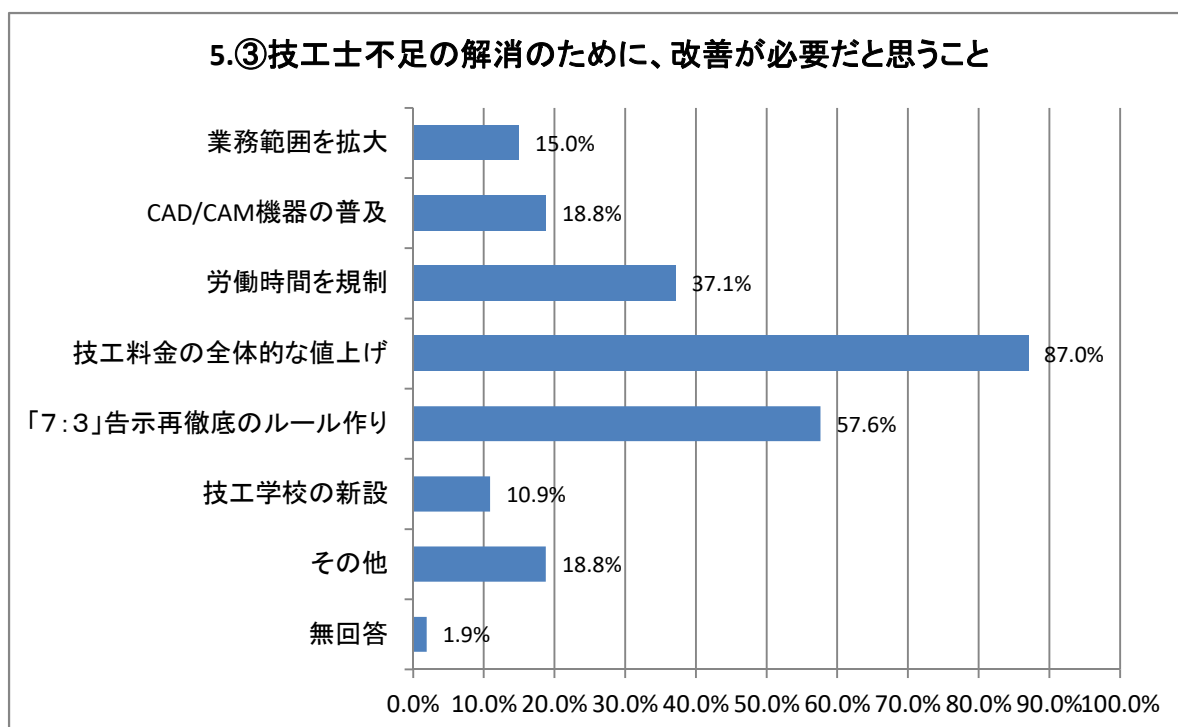


2024年歯科技工所アンケート

【単純集計】

5.③ 技工士不足の解消のために、改善が必要だと思うことを3つまで選んでください（MA）

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	業務範囲を拡大	300	15.0%
2	CAD/CAM機器の普及	376	18.8%
3	労働時間を規制	743	37.1%
4	技工料金の全体的な値上げ	1,742	87.0%
5	「7:3」告示再徹底のルール作り	1,154	57.6%
6	技工学校の新設	218	10.9%
7	その他	376	18.8%
8	無回答	38	1.9%
	全体	2,002	



2024年歯科技工所アンケート

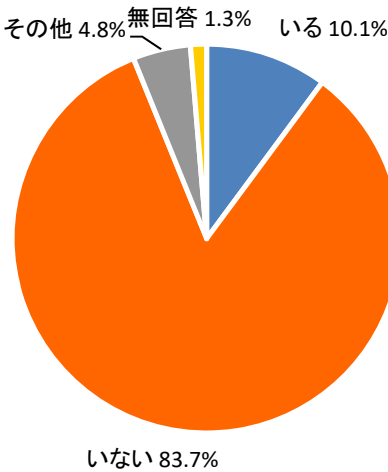
【単純集計】

6. ① 後継者の有無 (SA)

2016年

No	カテゴリ	件数	全体(%)	全体(%)
1	いる	203	10.1%	18.9
2	いない	1,676	83.7%	70.6
3	その他	96	4.8%	4.4
	無回答	27	1.3%	6.2
	全体	2,002		2,303

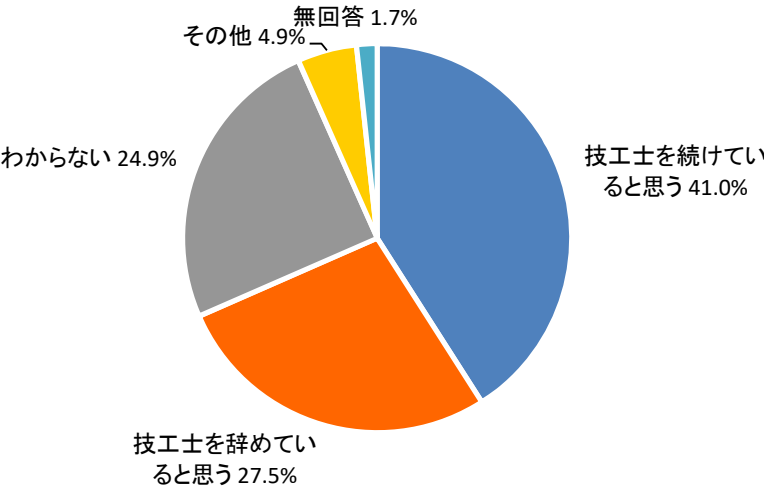
6. ① 後継者の有無



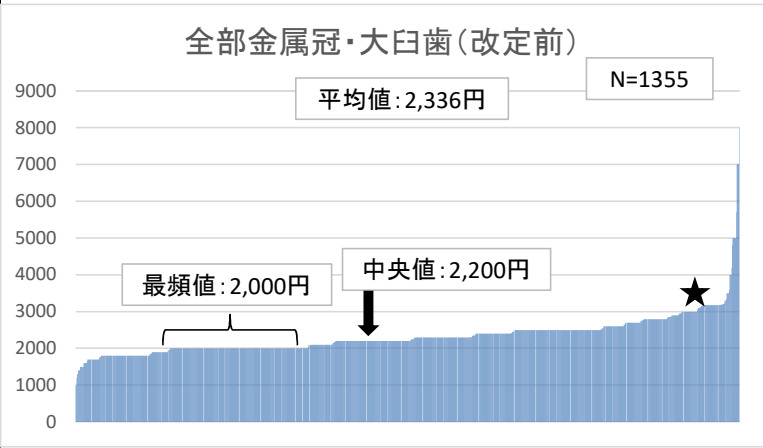
6.② ご自身の5年後の状況について、予想されるものを選んでください。(SA)

No	カテゴリ	件数	全体(%)
1	技工士を続けていると思う	820	41.0%
2	技工士を辞めていると思う	550	27.5%
3	わからない	499	24.9%
	その他	99	4.9%
	無回答	34	1.7%
	全体	2,002	

6.②5年後の状況について



改定前の金額は回答があったもの
改定後の金額は、①改定後の金額の記入があったもの、②改定前の金額記入があり、改定後が空白だったものを
変化なしと読みかえたもの、③改定前の金額記入があり、変化なしとの回答を集計
★は点数の約7割の価格分布



	(件)
改定後金額引き上げ	339
改定後金額引き下げ	5
改定前のみ記入	691
変化なし	320
空欄、無回答	617
取扱なし	30
合計	2002

変更なし 1011
取扱なし 647

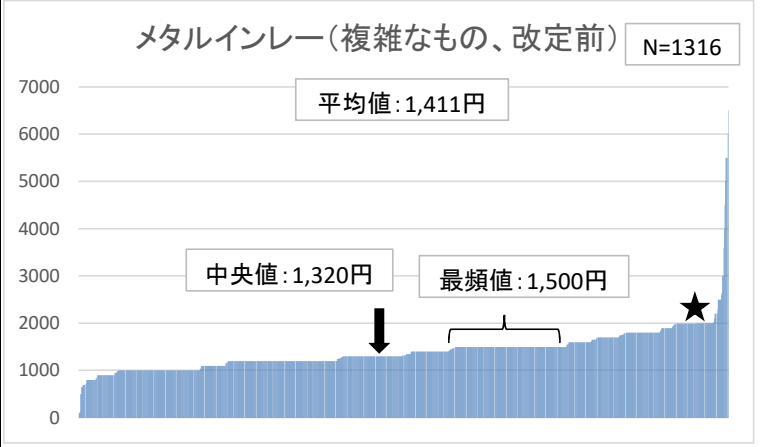
問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

全部金属冠、FMCなどと回答があったのは202件

	現行金額	希望金額	16年調査 の現行額	16年調査 の希望額
平均値	2280.0	3662.5	2,261.1	3,397.7
中央値	2200	3000	2,200.0	3,000.0
最頻値	2000	3000	2,000.0	3,000.0

改定前454点の7割は3178円
改定後459点の7割は3213円
2016年の全部鑄造冠(大臼歯、金パラ)の点数は454点、7割は3178円

改定前、3178円以上だったのは、1355件のうち75件
改定後、3213円以上だったのは、1355件のうち54件



	(件)
改定後金額引き上げ	318
改定後金額引き下げ	5
改定前のみ記入	695
変化なし	297
改定後、取扱なし	1
空欄、無回答	651
取扱なし	35
合計	2002

変更なし 992
取扱なし 686

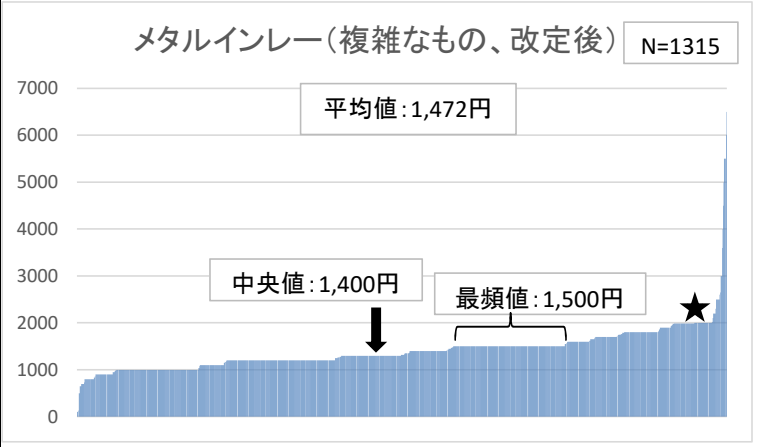
問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

メタルインレー(複)などと回答があったのは98件

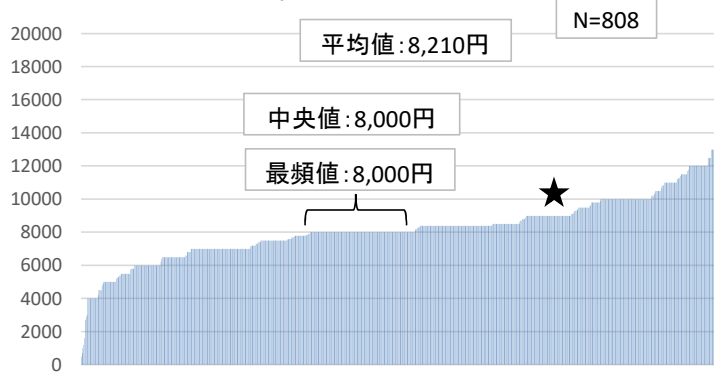
	現行金額	希望金額	16年調査 の現行額	16年調査 の希望額
平均値	1380.8	2392.9	1,333.8	2,111.4
中央値	1400	2000	1,300	2,000
最頻値	1000	2000	1,000	2,000

改定前284点の7割は1988円
改定後287点の7割は2009円
2016年のインレー(複)は284点

改定前、1988円以上だったのは、1316件のうち100件
改定後、2009円以上だったのは、1315件のうち94件



CAD/CAM冠(改定前)



	(件)	
改定後金額引き上げ	68	
改定後金額引き下げ	51	
改定前のみ記入	438	変更なし 688
変化なし	250	
改定後、取扱なし	1	取扱なし 1194
空欄、無回答	1105	
取扱なし	89	
合計	2002	

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

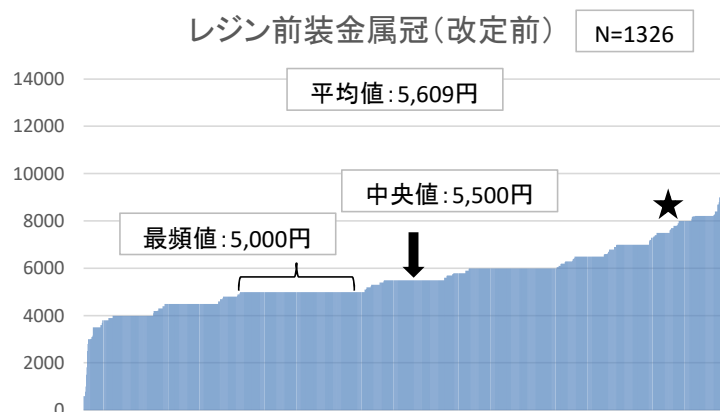
CAD/CAM冠などと回答があったのは75件

	現行金額	希望金額
平均値	7708.1	10765.3
中央値	7800	10000
最頻値	7000	10000

今次改定無しで1200点、7割は8400円
2016年の点数は1200点。

改定前、8400円以上だったのは、808件のうち378件
改定後、8400円以上だったのは、807件のうち384件

レジン前装金属冠(改定前)



	(件)	
改定後金額引き上げ	293	
改定後金額引き下げ	25	
改定前のみ記入	696	変更なし 1006
変化なし	310	
改定後、取扱なし	2	取扱なし 676
空欄、無回答	637	
取扱なし	39	
合計	2002	

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

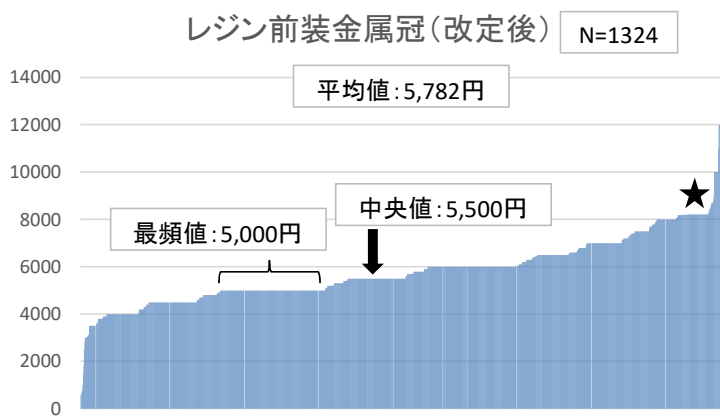
レジン前装金属冠などと回答があったのは370件

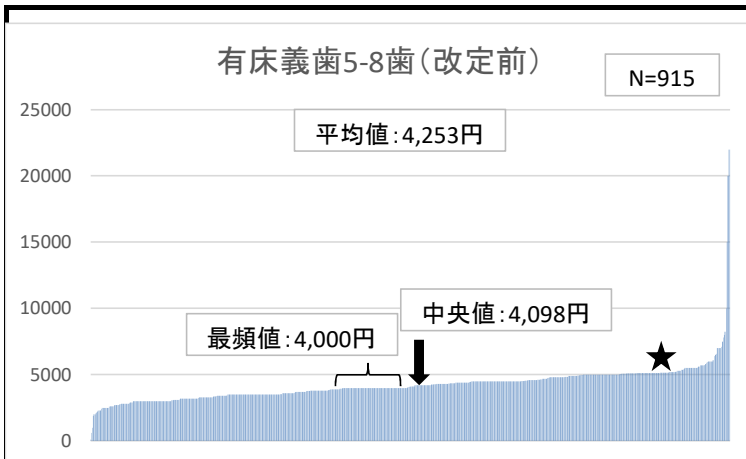
	現行金額	希望金額	16年調査 の現行額	16年調査 の希望額
平均値	5322.6	8010.5	5,466	7,754
中央値	5000	8000	5,000	8,000
最頻値	5000	8000	5,000	8,000

改定前1174点の7割は8218円
改定後1170点(前歯)の7割は8190円
改定後1100点(小臼歯)の7割は7700円
2016年のレジン前装冠は1174点、7割は8218円

改定前、8218円以上だったのは、1326件のうち59件
改定後、8190円以上だったのは、1324件のうち87件

レジン前装金属冠(改定後)





	(件)
改定後金額引き上げ	329
改定後金額引き下げ	4
改定前のみ記入	417
変化なし	165
空欄、無回答	1028
取扱なし	59
合計	2002

変更なし 582
取扱なし 1087

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

有床義歯5-8歯などと回答があったのは18件

	現行金額	希望金額	16年調査 の現行額	16年調査 の希望額
平均値	4691.1	6800.0	3,987	6,068
中央値	4800	6500	3,800	5,000
最頻値	4500	6000	4,000	5,000

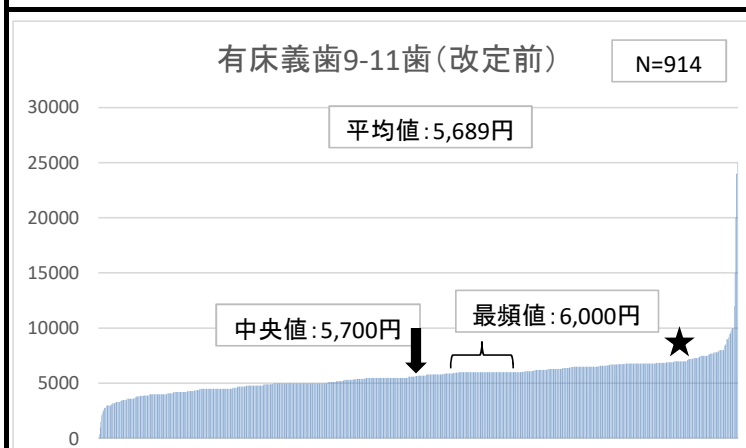
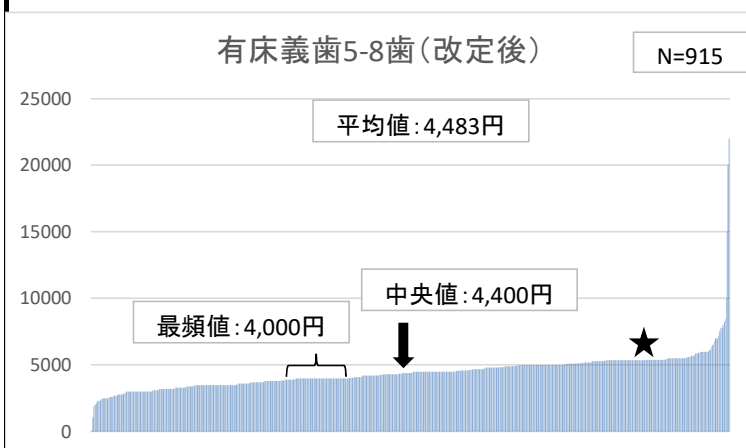
改定前732点の7割は5124円

改定後767点の7割は5369円

2016年の点数は708点、7割は4956円

改定前、5124円以上だったのは、915件のうち112件

改定後、5369円以上だったのは878件のうち172件



	(件)
改定後金額引き上げ	330
改定後金額引き下げ	4
改定前のみ記入	412
変化なし	166
改定後、取扱なし	2
空欄、無回答	1030
取扱なし	58
合計	2002

変更なし 578
取扱なし 1088

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

有床義歯9-11歯などと回答があったのは2件

現行金額	希望金額		16年調査 の現行額	16年調査 の希望額
3000	3500	平均値	5,438	8,188
6800	8000	中央値	5,200	7,000
		最頻値	5,000	7,000

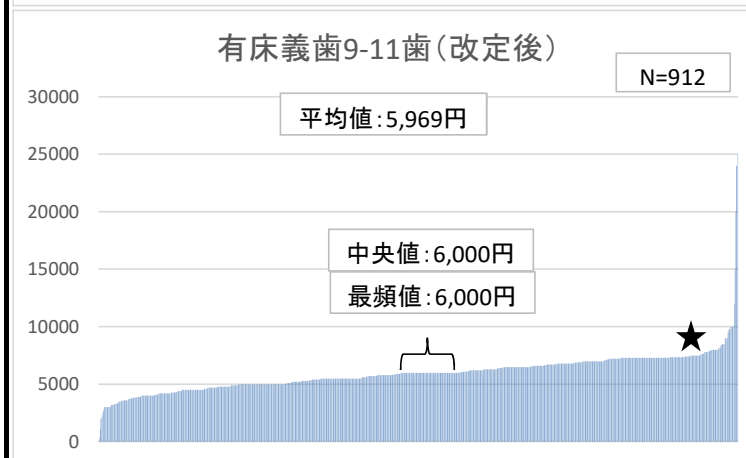
改定前972点の7割は6804円

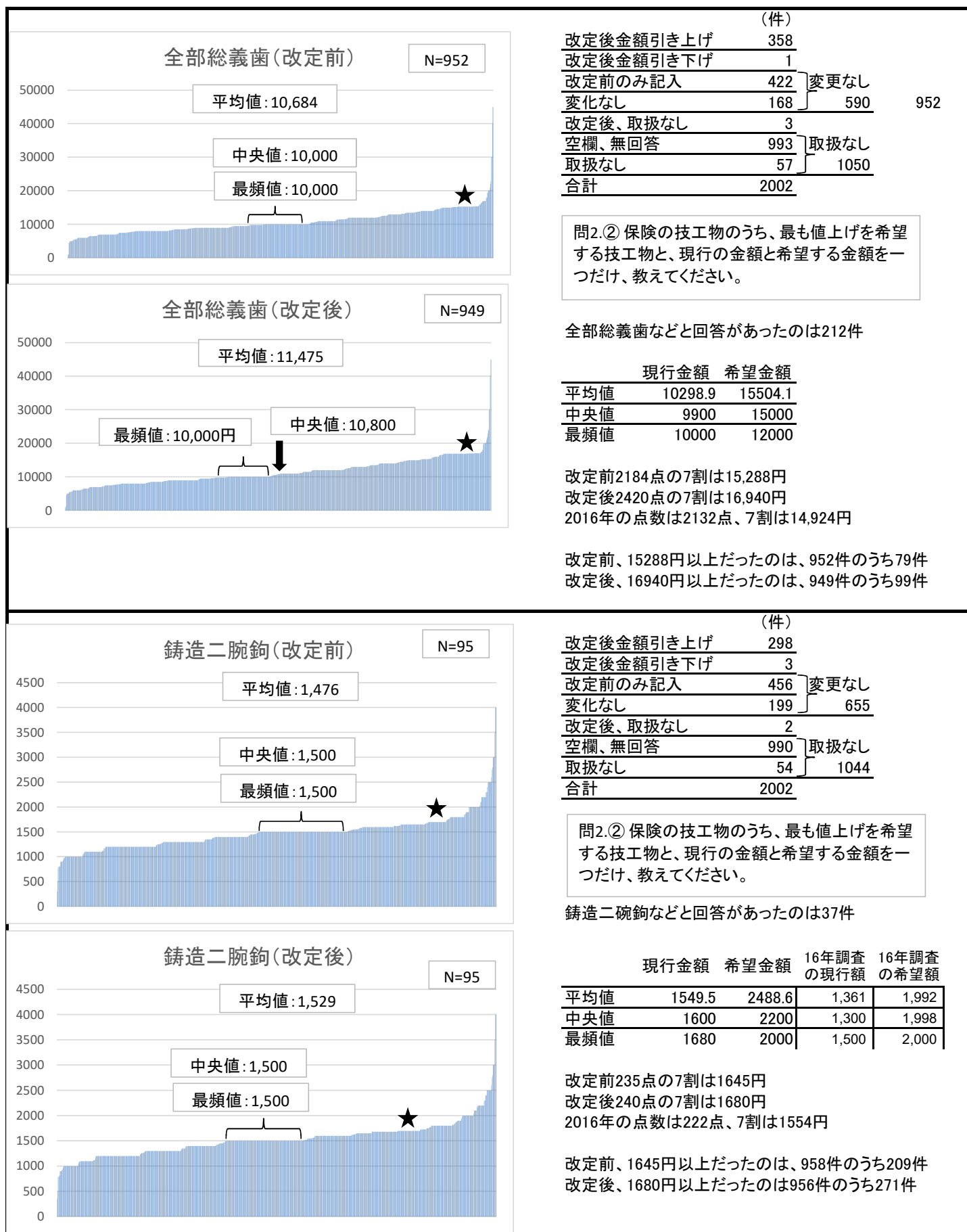
改定後1042点の7割は7294円

2016年の点数は940点、7割は6580円

改定前、6804円以上だったのは、914件のうち122件

改定後、7294円以上だったのは、912件のうち119件





鑄造二腕鉤(改定前)

N=95

平均値: 1,476
 中央値: 1,500
 最頻値: 1,500

(件)

改定後金額引き上げ	298
改定後金額引き下げ	3
改定前のみ記入	456
変化なし	199
改定後、取扱なし	2
空欄、無回答	990
取扱なし	54
合計	2002

変更なし: 655
 取扱なし: 1044

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。

鑄造二腕鉤などと回答があったのは37件

	現行金額	希望金額	16年調査の現行額	16年調査の希望額
平均値	1549.5	2488.6	1,361	1,992
中央値	1600	2200	1,300	1,998
最頻値	1680	2000	1,500	2,000

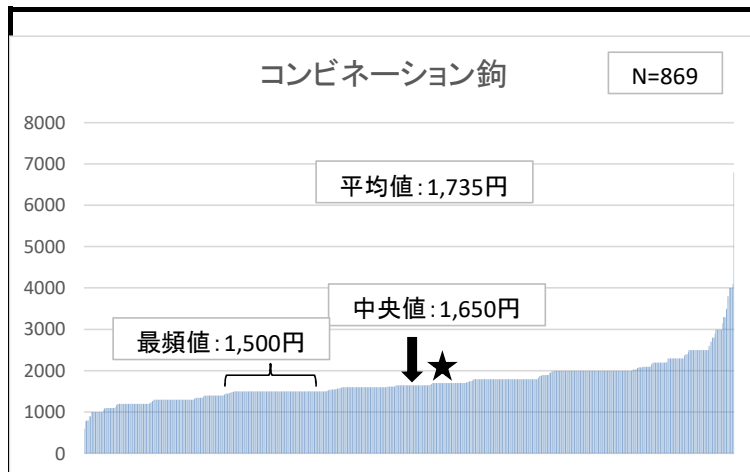
改定前235点の7割は1645円
 改定後240点の7割は1680円
 2016年の点数は222点、7割は1554円

改定前、1645円以上だったのは、958件のうち209件
 改定後、1680円以上だったのは956件のうち271件

鑄造二腕鉤(改定後)

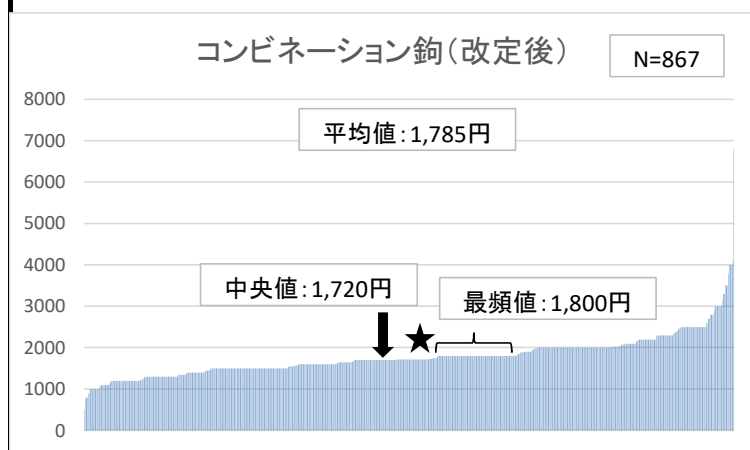
N=95

平均値: 1,529
 中央値: 1,500
 最頻値: 1,500



改定後金額引き上げ	231	
改定後金額引き下げ	12	
改定前のみ記入	423	変更なし 625
変化なし	202	
改定後、取扱なし	2	取扱なし 985
空欄、無回答	922	
取扱なし	63	
合計	1855	

問2.② 保険の技工物のうち、最も値上げを希望する技工物と、現行の金額と希望する金額を一つだけ、教えてください。



コンビネーション鉤などと回答があったのは7件

	現行金額	希望金額
平均値	1620.0	2768.6
中央値	1720	3000
最頻値	1720	3440

改定前236点の7割は1652円
改定後246点の7割は1722円
2016年の点数は226点、7割は1582円

改定前、1652円以上だったのは、869件のうち462件
改定後、1722円以上だったのは、867件のうち409件